

1 中学校視察に関する意見交換

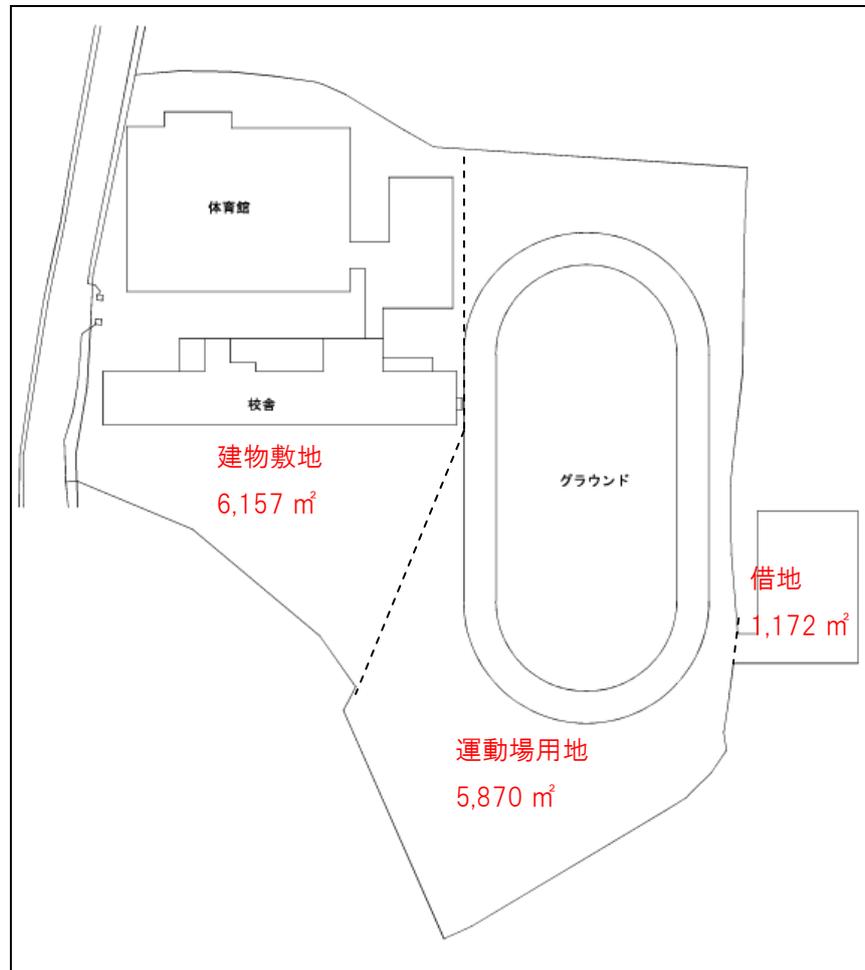
下田市立稲生沢中学校

下田市立下田中学校

第5 2中学校の比較について

1 2中学校の現況

(1) 稲生沢中学校の現況



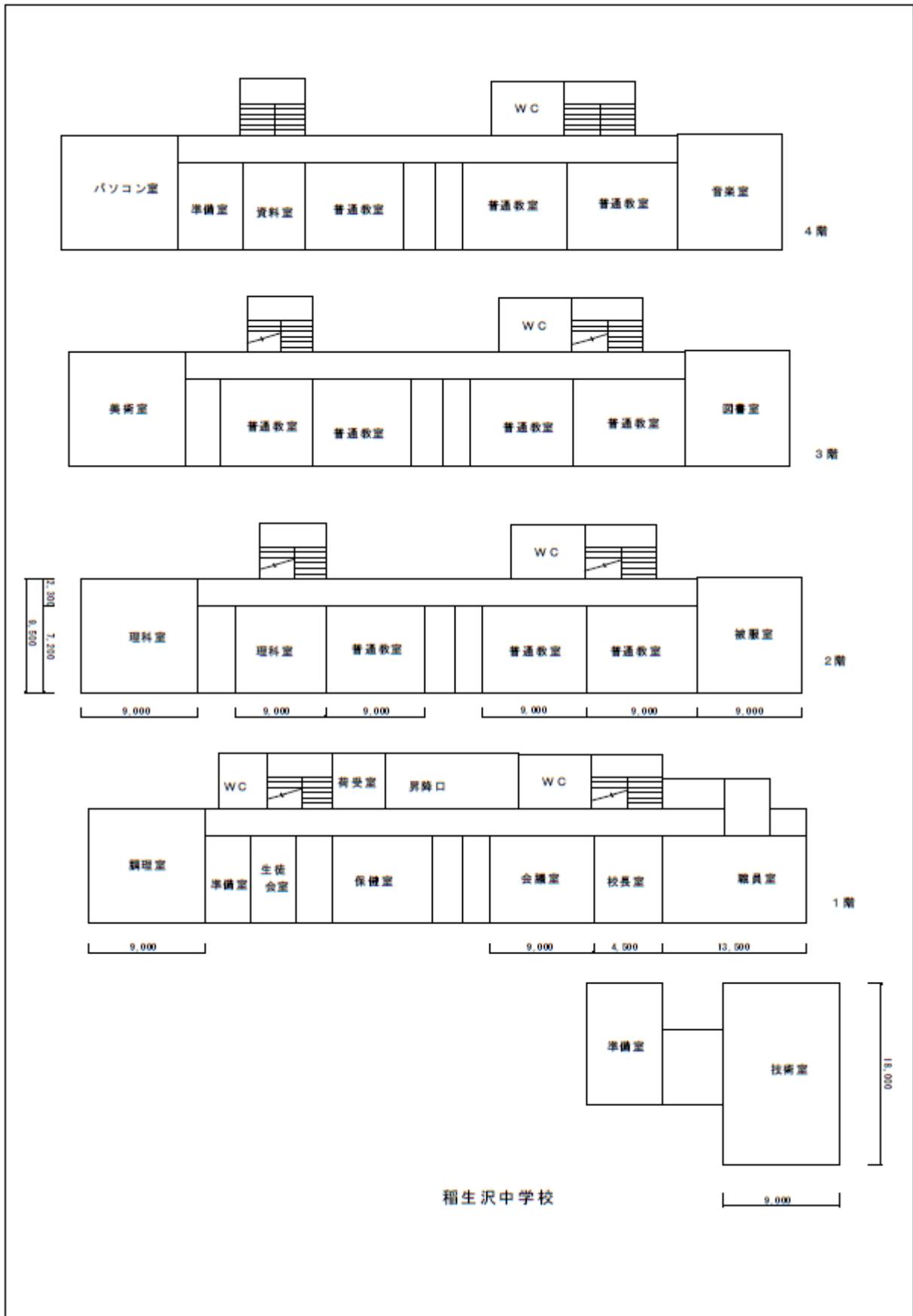
土地 (m ²)	区分	建物敷地	運動場用地	その他用地	計
	市保有	6,157	5,870	0	12,027
	借地	0	0	1,172	1,172
	計	6,157	5,870	1,172	13,199

建物 (m ²)	区分	建築年(西暦)	構造	階数	延床面積	耐震ランク	経過年数
	校舎	1982	鉄筋コンクリート造	4	2,934	l b	34
	体育館	1986	鉄筋コンクリート造	2	1,159	l b	30
	技術棟	2005	鉄骨造	1	230	l a	11
倉庫、体育器具庫等の小規模な建物は含まない。							

周辺環境としては、北側と南側は住宅地、東側に国道414号、西側に市道、住宅地と隣接しています。交通面では敷地西側の市道立野お吉ヶ淵線に面し、一部歩道整備されています。

【現在までの主な改修工事】

- ・1994年 コンピューター室設置工事
- ・2010年 体育館屋上防水改修工事
- ・2016年 体育館照明LED化



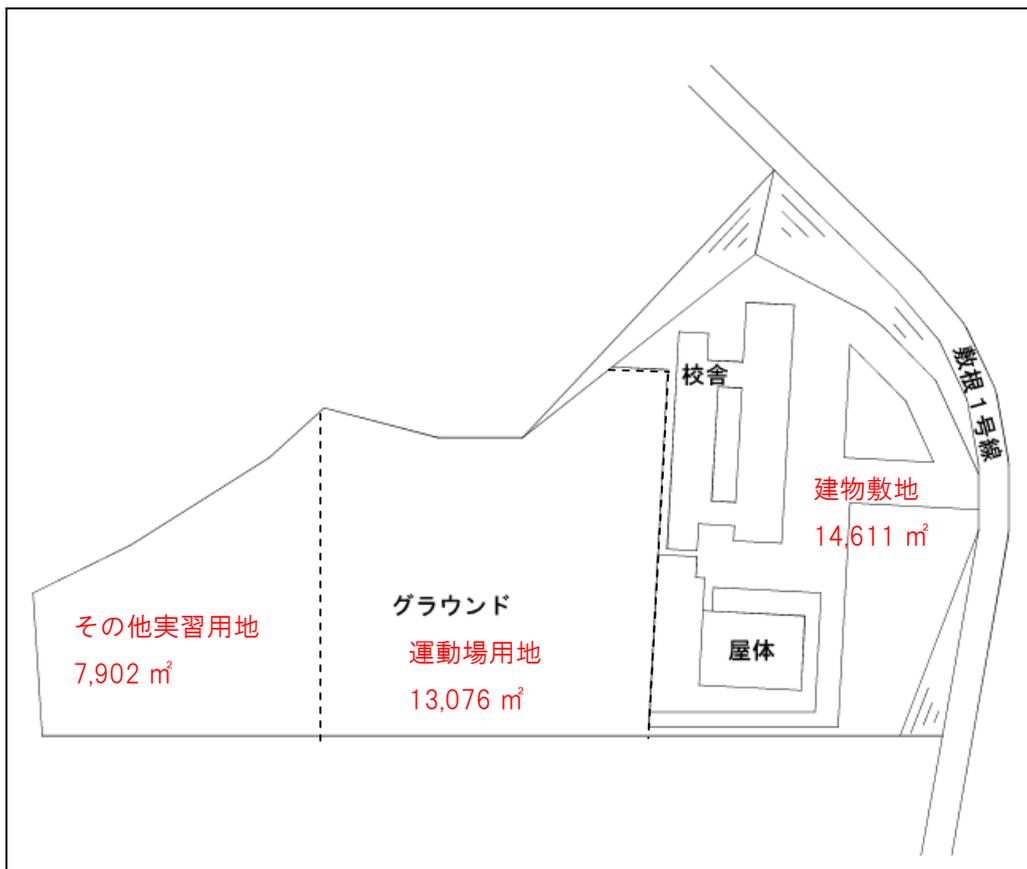
稻生沢中学校

【稲生沢中学校：現況諸室】 1コマ=64.8 m²

		室名	現況コマ	現況室数	備考	総コマ数
校舎	普通教室廻り					
	普通教室	普通教室	1	10		10
		多目的室	1	0		0
		特別支援学級	0	0		0
	特別教室					
	情報関係室	図書室	1.3	1		1.3
		パソコン室	2.6	1	準備室含む	2.6
	理科	理科室	1.4	2	準備室含む	2.8
	家庭科	家庭科室	1.6	2	被服室、調理室	3.2
	技術	技術室	3.5	1	準備室含む	3.5
	音楽	音楽室	1.3	1	準備室含む	1.3
	美術	美術室	1.8	1	準備室含む	1.8
	特別活動					
	生徒会	生徒会室	0.5	1		0.5
	生活関連スペース					
		昇降口	1.2	1		1.2
		生徒トイレ	0.5	4	男女別、各学年に	2
		配膳室	0	0		0
		給食受入室	0.4	1		0.4
		生徒更衣室	0.25	3		0.75
		多目的トイレ	0	0		0
		教材室	0.25	3		0.75
		廊下	1.6	4		6.4
		階段室	0.4	8	各階2箇所	3.2
	管理諸室					
		校長室	0.5	1		0.5
		職員室	1.5	1		1.5
		事務室	0.3	1		0.3
		用務員室	0	0		0
		会議室	1	1		1
		進路資料・指導室	0	0		0
		印刷室	0.2	1		0.2
休憩室		0.3	1		0.3	
放送室		0.2	1		0.2	
職員更衣室		0.2	1	男女別	0.2	
保健室・相談室		1	1		1	
職員トイレ		0.4	1	男女別	0.4	
47.3						

○体育館：1,159 m² ○屋外体育器具庫：58 m²

(2) 下田中学校の現況



土地 (m ²)	区分	建物敷地	運動場用地	その他用地	計
	市保有	14,611	13,076	7,902	35,589
	借地	0	0	0	0
	計	14,611	13,076	7,902	35,589

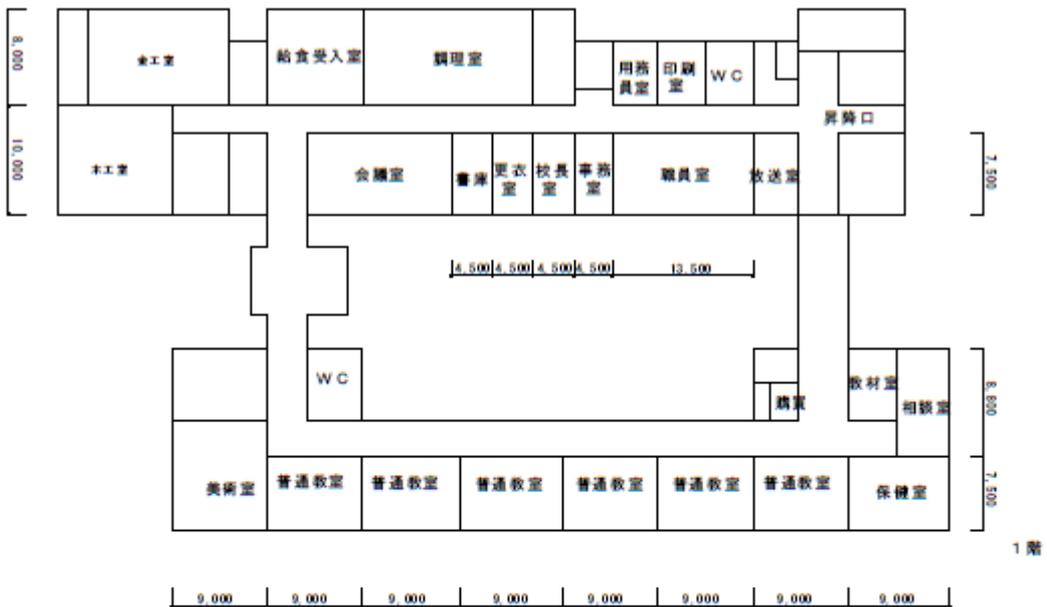
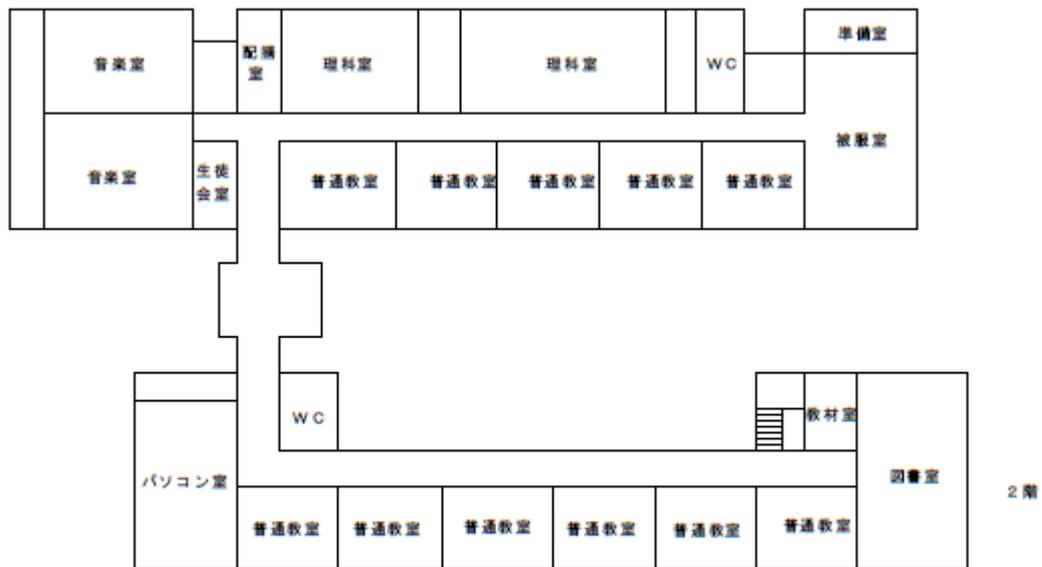
建物 (m ²)	区分	建築年(西暦)	構造	階数	延床面積	耐震ランク	経過年数
	校舎	1984	鉄筋コンクリート造	2	5,098	I b	32
	体育館	1985	鉄筋コンクリート造	2	1,128	I b	31

倉庫、体育器具庫等の小規模な建物は含まない。

周辺環境としては、北側と南側を山に挟まれ、東側に敷根公園、西側にこども園及び住宅地と隣接しています。交通面では敷地北側の市道敷根1号線に面し、片側1車線道路で歩道整備もされています。

【現在までの主な改修工事】

- ・1994年 コンピューター室設置工事
- ・2008年 体育館屋上防水改修工事
- ・2015年 公共下水道接続工事
- ・2015年 体育館照明LED化
- ・2016年 校舎北側屋上防水改修工事
- ・2016年 体育館南側に太陽光発電設備設置工事



下田中学校

【下田中学校：現況諸室】 1 コマ=67.5 m²

	室名	現況コマ	現況室数	備考	総コマ数	
校舎	普通教室廻り					
	普通教室	普通教室	1	16		16
		多目的室	1	0		0
		特別支援学級	1	1		1
	特別教室					
	情報関係室	図書室	2.2	1		2.2
		パソコン室	2.2	1	準備室含む	2.2
	理科	理科室	2	2	準備室含む	4
	家庭科	家庭科室	2.3	2	被服室、調理室	4.6
	技術	技術室	2.5	2	金工室、木工室、準備室含	5
	音楽	音楽室	2.5	2	準備室含む	5
	美術	美術室	2.2	1	準備室含む	2.2
	特別活動					
	生徒会	生徒会室	0.5	1		0.5
	生活関連スペース					
		昇降口	1.2	1		1.2
		生徒トイレ	0.3	6	男女別、各学年に	1.8
		配膳室	0.5	1		0.5
		給食受入室	1	1		1
		生徒更衣室	0	0		0
		多目的トイレ	0	0		0
		教材室	0.5	3		1.5
		廊下	7	2		14
		階段室	0.5	6	各階3箇所	3
	管理諸室					
		校長室	0.5	1		0.5
		職員室	1.5	1		1.5
		事務室	0.5	1		0.5
		用務員室	0.5	1		0.5
		会議室	1	1		1
		進路資料・指導	0.5	1	書庫を含む	0.5
		印刷室	0.5	1		0.5
休憩室		0.5	1		0.5	
放送室		0.5	1		0.5	
職員更衣室		0.5	1		0.5	
保健室・相談室		1.5	1		1.5	
職員トイレ		0.5	1	男女別	0.5	
					74.2	

○体育館： 1,128 m² ○部室： 58 m²

○屋外体育器具庫： 54 m² ○駐輪場： 20 m²

2 2中学校の比較

(1) 中学校設置基準に基づく校舎面積及び運動場面積について

中学校設置基準では、全校生徒数に基づき、校舎面積及び運動場面積について基準を設けており、以下のとおりになります。

ア 想定生徒数

新中学校開校を平成33年度からとし、生徒数を以下の推計表から450人と仮定。

年度	1年	2年	3年	生徒数合計
H33	152人	143人	152人	431人
H34	143人	152人	139人	434人
H35	134人	143人	152人	429人
H36	143人	134人	143人	420人
H37	122人	143人	134人	399人
H38	131人	122人	143人	396人
H39	112人	131人	122人	365人

イ 校舎面積

$$\text{【算定式】: } 600 + 6 \times (\text{生徒数} - 40) \quad 600 + 6 \times (450 - 40) = \underline{3,060 \text{ m}^2}$$

ウ 運動場面積

$$\text{【算定式】: } 3600 + 10 \times (\text{生徒数} - 240) \quad 3600 + 10 \times (450 - 240) = \underline{5,700 \text{ m}^2}$$

エ 2中学校の状況

2中学校の既存校舎及び運動場の面積で考慮した場合、校舎及び運動場ともに中学校設置基準の面積を有しています。

	稲生沢中学校	下田中学校
校舎延床面積	3,164 m ²	5,098 m ²
運動場面積	5,870 m ²	13,076 m ²
H28 生徒数	122人	218人

(2) 既存施設の活用について

2校の中学校用地のうち、下田中学校は全て市有地であり、稲生沢中学校は一部借地となっています。

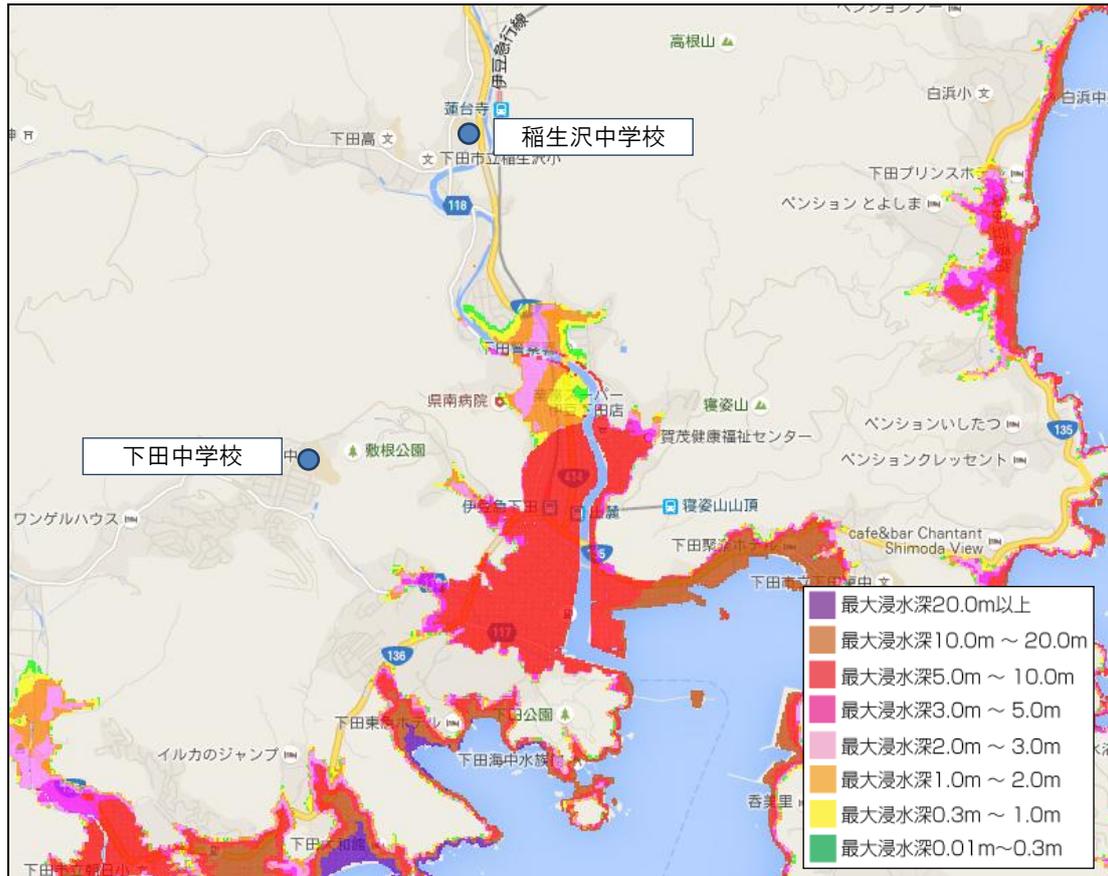
	稲生沢中学校	下田中学校
市有地	一部借地	全部

(3) 防災面での安全性について

新中学校候補地の防災面での安全性を考慮する上で、津波浸水想定区域外及び土砂災害警戒区域外であることが重要だと考えられます。2校とも中学校が津波浸水想定区域外ですが、土砂災害警戒区域については、稲生沢中学校及び下田中学校ともに一部が警戒区域に含まれています。

	稲生沢中学校	下田中学校
津波浸水想定区域	区域外	区域外
土砂災害警戒区域	一部区域	一部区域

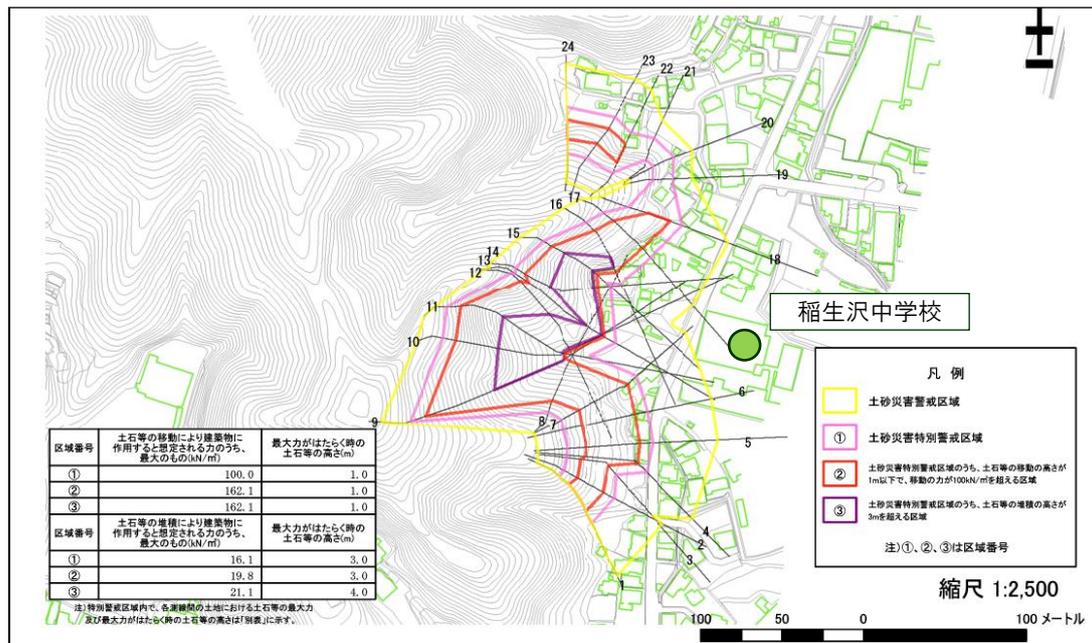
ア 津波浸水想定区域図（静岡県第4次津波被害想定津波浸水〔レベル2〕）



資料：静岡県統合基盤地理情報システム

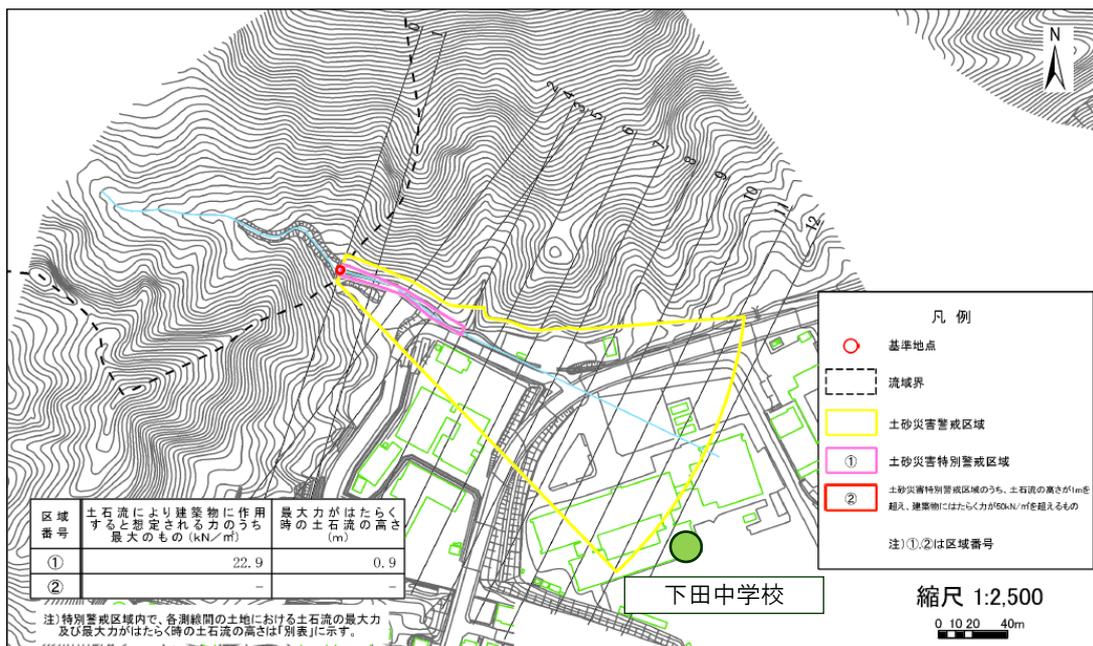
イ 土砂災害警戒区域図

(ア) 稲生沢中学校



資料：静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課（区域名：金谷山）

(イ) 下田中学校



資料：静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課（区域名：敷根西沢）

(4) 通学について

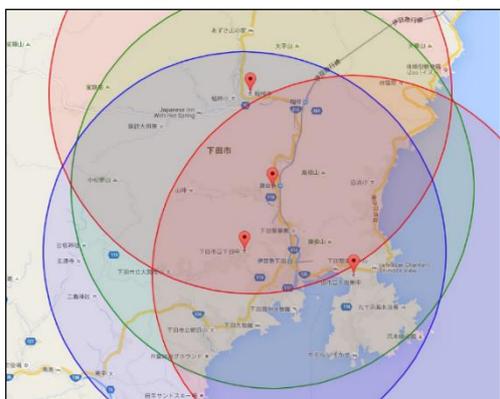
市内全域からの通学になるため、通学距離、通学時間について、国の基準を参考としながら、一部の生徒に負担をかけないように慎重に検討することが重要です。

ア 通学距離について

義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第4条第1項第2号において、中学校でおおむね6km以内という通学距離基準を定めています。

イ 通学時間について

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（平成27年1月27日文部科学省）において、通学時間は「おおむね1時間以内」を一応の目安とした上で、各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否を含めた判断を行うのが適当であると示しています。



ウ 2 中学校の比較

国の基準を参考に2中学校で以下の条件のもと、比較しました。

【2 中学校比較条件】

- 1 通学は公共交通機関（バス路線）を利用することを想定（自家用車送迎等による候補地近隣住民の環境配慮）。また、市内全域からの通学を考慮し、中心部から最も遠い停留所を以下のとおり選出（下田地区は下田駅を選出）。
 稲梓地区：加増野、北の沢 稲生沢地区：大沢口 白浜地区：板戸一色 浜崎地区：須崎海岸、爪木崎
 朝日地区：田牛、銭瓶峠、堀切 下田地区：下田駅
- 2 選出した停留所と2中学校付近停留所の距離及びバス乗車時間を調査。但し、下田駅などでの乗換時間は考慮しない。
- 3 自宅から停留所までの距離及び時間を考慮しない（2中学校の比較は、上記1及び2で検討できるため）。
- 4 バス運行ダイヤについては、既存ダイヤを考慮しない（統合となった際、ダイヤ設定については交通事業者と要交渉）。

（ア）稲生沢中学校（停留所：河内温泉）

地区	停留所	距離	時間（内徒歩時間なし）
稲梓地区	加増野	10.2 km	18 分
	北の沢	8.4 km	17 分
稲生沢地区	大沢口	1.8 km	6 分
白浜地区	板戸一色	10.4 km	23 分
浜崎地区	須崎海岸	7.1 km	21 分
	爪木崎	8.6 km	31 分
朝日地区	田牛	9.5 km	26 分
	銭瓶峠	8.3 km	21 分
	堀切	8.5 km	23 分
下田地区	下田駅	2.8 km	8 分
※参考 平均		7.56 km	19.4 分
距離区分		時間区分	
5 km未満	2 か所	10 分未満	2 か所
5 km以上 10 km未満	6 か所	10 分以上 20 分未満	2 か所
10 km以上	2 か所	20 分以上 30 分未満	5 か所
—	—	30 分以上 40 分未満	1 か所
—	—	40 分以上	0 か所

（イ）下田中学校（停留所：下田中学校）

地区	停留所	距離	時間（内徒歩時間なし）
稲梓地区	加増野	14.8 km	30 分
	北の沢	13.0 km	31 分
稲生沢地区	大沢口	6.0 km	17 分
白浜地区	板戸一色	9.5 km	20 分
浜崎地区	須崎海岸	6.3 km	18 分
	爪木崎	7.7 km	28 分
朝日地区	田牛	7.6 km	23 分
	銭瓶峠	6.4 km	18 分
	堀切	3.9 km	10 分
下田地区	下田駅	1.8 km	5 分
※参考 平均		7.7 km	20.0 分
距離区分		時間区分	
5 km未満	2 か所	10 分未満	1 か所
5 km以上 10 km未満	6 か所	10 分以上 20 分未満	4 か所
10 km以上	2 か所	20 分以上 30 分未満	3 か所
—	—	30 分以上 40 分未満	2 か所
—	—	40 分以上	0 か所

(5) 通学補助想定について

下田市立4中学校を1校化にする想定に伴い、下田市総合教育会議において、統合後の校舎位置は、稲生沢中学校及び下田中学校を候補地とするのが望ましいという方向性が示されました。併せて、公共交通機関の活用（自家用車送迎等による候補地近隣住民の環境配慮）及び他市町の制度を参考に補助要件などを仮に設定しました。

補助対象者	制度概要
小中学校の統合等に伴い、市が指定する就学校又は通学場所に変更が生じた地域の児童・生徒 ※統合前の旧学区内の児童・生徒に対しては既存補助要綱を適用。	補助率は全額補助（通学定期券の交付） ※通学費負担を軽減し、義務教育の円滑な遂行を図る。

ア 通学費補助要件の仮設定に基づく各地区からの補助金額について

(5) で掲げた通学費補助要件の仮設定に基づく各地区からの補助金額について、以下の条件にて算出しました。

<p>【補助金額算出条件】</p> <ol style="list-style-type: none">行政区別人口データは、平成28年4月1日時点の住民基本台帳の行政区別・年齢別人口調べを利用。地区別の1年生から3年生の生徒数については、平成33年度からの中学校統合を想定し、平成28年4月1日現在でその学年に該当する7歳から9歳のそれぞれの人数を記載。地区別に既存の稲生沢中学校及び下田中学校までの通学定期代について算出。併せて、バス利用のみの場合、バス及び鉄道利用の場合それぞれの定期代を算出。補助期間については、休暇中の部活動等を考慮し、1年間（365日）とする。バス及び鉄道定期代については、(株)南伊豆東海バス及び伊豆急行(株)に確認し、平成28年度定期券金額から算出。 ※バス通学定期券：4か月定期が最長・鉄道通学定期券：6か月定期が最長停留所等については、行政区ごとで1か所を設定。また、停留所利用人数についても行政区ごとの人数が全て利用すると仮定。バス及び鉄道ダイヤについては、既存ダイヤを考慮しない。（統合となった場合、ダイヤ設定については交通事業者と要交渉）。
--

(ア) 稲生沢中学校想定 (バス利用のみ)

行政区	停留所 (想定)	1年生	2年生	3年生	生徒計	バス 定期 (4か月)	バス 定期 (1年)	定期代 補助額
須原	北の沢	2	0	1	3	68,400	205,200	615,600
須原2	目金	6	0	1	7	57,460	172,380	1,206,660
宇土金	宇土金口	0	2	2	4	57,460	172,380	689,520
椎原	上箕作	3	3	3	9	45,140	135,420	1,218,780
北湯ヶ野	上箕作	0	2	0	2	45,140	135,420	270,840
横川	横川	2	0	2	4	62,930	188,790	755,160
加増野	加増野	1	0	1	2	82,080	246,240	492,480
相玉	相玉	0	3	1	4	47,880	143,640	574,560
箕作	下箕作	0	7	2	9	42,410	127,230	1,145,070
落合	落合	0	0	0	0	34,200	102,600	0
稲梓地区計		14	17	13	44			6,968,670
原田	白浜神社	8	9	7	24	68,400	205,200	4,924,800
長田	長田	4	7	3	14	73,870	221,610	3,102,540
板戸	板戸一色	1	2	4	7	84,820	254,460	1,781,220
白浜地区計		13	18	14	45			9,808,560
柿崎	柿崎神社前	9	4	13	26	43,780	131,340	3,414,840
須崎	須崎海岸	9	9	7	25	62,930	188,790	4,719,750
外浦	外浦口	1	3	1	5	51,980	155,940	779,700
浜崎地区計		19	16	21	56			8,914,290
吉佐美	吉佐美	23	8	17	48	57,460	172,380	8,274,240
田牛	田牛	3	1	2	6	80,710	242,130	1,452,780
大賀茂	学校前	13	13	14	40	62,930	188,790	7,551,600
朝日地区計		39	22	33	94			17,278,620
一丁目	下田駅	3	8	3	14	34,200	102,600	1,436,400
二丁目	下田駅	4	1	5	10	34,200	102,600	1,026,000
三丁目	下田駅	1	2	2	5	34,200	102,600	513,000
四丁目	下田駅	0	3	2	5	34,200	102,600	513,000
五丁目	鍋田口	0	4	1	5	43,780	131,340	656,700
六丁目	白岩山	16	15	14	45	46,510	139,530	6,278,850
武ガ浜	下田駅	0	1	1	2	34,200	102,600	205,200
敷根	下田駅	2	3	1	6	34,200	102,600	615,600
東本郷1	下田駅	1	2	3	6	34,200	102,600	615,600
西本郷1	下田駅	1	0	3	4	34,200	102,600	410,400
下田地区計		28	39	35	102			12,270,750
全地区合計		113	112	116	341			55,240,890

※バス定期(1年)は、バス定期(4か月)金額から算出。補助額は、バス定期(1年)金額に生徒計をかけて算出。

(イ) 稲生沢中学校想定（バス及び鉄道利用）

行政区	停留所 (想定)	1年生	2年生	3年生	生徒計	バス 定期 (4か月)	バス 定期 (1年)	鉄道 定期 (6か月)	鉄道 定期 (1年)	定期代 補助額
須原	北の沢	2	0	1	3	68,400	205,200			615,600
須原2	目金	6	0	1	7	57,460	172,380			1,206,660
宇土金	宇土金口	0	2	2	4	57,460	172,380			689,520
椎原	上箕作	3	3	3	9	45,140	135,420			1,218,780
北湯ヶ野	上箕作	0	2	0	2	45,140	135,420			270,840
横川	横川	2	0	2	4	62,930	188,790			755,160
加増野	加増野	1	0	1	2	82,080	246,240			492,480
相玉	相玉	0	3	1	4	47,880	143,640			574,560
箕作	下箕作	0	7	2	9	42,410	127,230			1,145,070
落合	落合	0	0	0	0	34,200	102,600			0
稲梓地区計		14	17	13	44					6,968,670
原田	白浜神社	8	9	7	24	49,250	147,750			4,432,560
長田	長田	4	7	3	14	53,350	160,050	18,470	36,940	2,757,860
板戸	板戸一色	1	2	4	7	64,300	192,900			1,608,880
白浜地区計		13	18	14	45					8,799,300
柿崎	柿崎神社前	9	4	13	26	23,260	69,780			2,774,720
須崎	須崎海岸	9	9	7	25	41,040	123,120	18,470	36,940	4,001,500
外浦	外浦口	1	3	1	5	32,830	98,490			677,150
浜崎地区計		19	16	21	56					7,453,370
吉佐美	吉佐美	23	8	17	48	36,940	110,820			7,092,480
田牛	田牛	3	1	2	6	60,190	180,570	18,470	36,940	1,305,060
大賀茂	学校前	13	13	14	40	39,670	119,010			6,238,000
朝日地区計		39	22	33	94					14,635,540
一丁目	下田駅	3	8	3	14					517,160
二丁目	下田駅	4	1	5	10					369,400
三丁目	下田駅	1	2	2	5					184,700
四丁目	下田駅	0	3	2	5					184,700
五丁目	鍋田口	0	4	1	5	23,260	69,780			533,600
六丁目	白岩山	16	15	14	45	23,260	69,780	18,470	36,940	4,802,400
武ガ浜	下田駅	0	1	1	2					73,880
敷根	下田駅	2	3	1	6					221,640
東本郷1	下田駅	1	2	3	6					221,640
西本郷1	下田駅	1	0	3	4					147,760
下田地区計		28	39	35	102					7,256,880
全地区合計		113	112	116	341					45,113,760

※バス定期(1年)はバス定期(4か月)から算出、鉄道定期(1年)は鉄道通学定期(6か月)金額から算出。補助額は、それぞれの定期(1年)金額に生徒計をかけ算出。

(ウ) 下田中学校想定 (バス利用のみ)

行政区	停留所 (想定)	1年生	2年生	3年生	生徒計	バス 定期 (4か月)	バス 定期 (1年)	定期代 補助額
須原	北の沢	2	0	1	3	86,180	258,540	755,620
須原2	目金	6	0	1	7	76,610	229,830	1,608,810
宇土金	宇土金口	0	2	2	4	76,610	229,830	919,320
椎原	上箕作	3	3	3	9	62,930	188,790	1,699,110
北湯ヶ野	上箕作	0	2	0	2	62,930	188,790	377,580
横川	横川	2	0	2	4	80,710	242,130	968,520
加増野	加増野	1	0	1	2	97,130	291,390	582,780
相玉	相玉	0	3	1	4	64,300	192,900	771,600
箕作	下箕作	0	7	2	9	58,820	176,460	1,588,140
落合	落合	0	0	0	0	50,620	151,860	0
稲梓地区計		14	17	13	44			9,291,480
東本郷2	東本郷二丁目	0	0	0	0	32,830	98,490	0
西本郷2	西本郷二丁目	5	0	1	6	31,460	94,380	566,280
西本郷3	西本郷二丁目	1	1	0	2	31,460	94,380	188,760
高馬	高馬	2	2	1	5	35,570	106,710	533,550
河内	河内温泉	7	6	6	19	45,140	135,420	2,572,980
蓮台寺	蓮台寺	6	4	1	11	45,140	135,420	1,489,620
上大沢	大沢口	1	0	1	2	51,980	155,940	311,880
下大沢	大沢口	2	0	1	3	51,980	155,940	467,820
立野	中の瀬	4	1	4	9	41,040	123,120	1,108,080
中	西中村	11	13	9	33	35,570	106,710	3,521,430
稲生沢地区計		39	27	24	90			10,760,400
原田	白浜神社	8	9	7	24	60,190	180,570	4,333,680
長田	長田	4	7	3	14	64,300	192,900	2,700,600
板戸	板戸一色	1	2	4	7	76,610	229,830	1,608,810
白浜地区計		13	18	14	45			8,643,090
柿崎	柿崎神社前	9	4	13	26	35,570	106,710	2,774,460
須崎	須崎海岸	9	9	7	25	54,720	164,160	4,104,000
外浦	外浦口	1	3	1	5	43,780	131,340	656,700
浜崎地区計		19	16	21	56			7,535,160
吉佐美	吉佐美	23	8	17	48	46,510	139,530	3,348,720
田牛	田牛	3	1	2	6	71,140	213,420	640,260
大賀茂	学校前	13	13	14	40	34,200	102,600	2,052,000
朝日地区計		39	22	33	94			6,040,980
全地区合計		124	100	105	329			42,271,110

※バス定期(1年)は、バス定期(4か月)金額から算出。補助額は、バス定期(1年)金額に生徒計をかけて算出。朝日地区は下田中学校旧学区で既存補助要綱適用により半額補助となるため、更に1/2をかけて算出。

(エ) 下田中学校想定(バス及び鉄道利用)

行政区	停留所等 (想定)	1年生	2年生	3年生	生徒計	バス 定期 (4か月)	バス 定期 (1年)	鉄道 定期 (6か月)	鉄道 定期 (1年)	定期代 補助額
須原	北の沢	2	0	1	3	86,180	258,540			775,620
須原2	目金	6	0	1	7	76,610	229,830			1,608,810
宇土金	宇土金口	0	2	2	4	76,610	229,830			919,320
椎原	上箕作	3	3	3	9	62,930	188,790			1,699,110
北湯ヶ野	上箕作	0	2	0	2	62,930	188,790			377,580
横川	横川	2	0	2	4	80,710	242,130			968,520
加増野	加増野	1	0	1	2	97,130	291,390			582,780
相玉	相玉	0	3	1	4	64,300	192,900			771,600
箕作	下箕作	0	7	2	9	58,820	176,460			1,588,140
落合	落合	0	0	0	0	50,620	151,860			0
稲梓地区計		14	17	13	44					9,291,480
東本郷2	東本郷二丁目	0	0	0	0	32,830	98,490			0
西本郷2	西本郷二丁目	5	0	1	6	31,460	94,380			566,280
西本郷3	西本郷二丁目	1	1	0	2	31,460	94,380			188,760
高馬	高馬	2	2	1	5	35,570	106,710			533,550
河内	蓮台寺駅	7	6	6	19	23,260	69,780			2,027,680
蓮台寺	蓮台寺駅	6	4	1	11	23,260	69,780			1,173,920
上大沢	蓮台寺駅	1	0	1	2	23,260	69,780	18,470	36,940	213,440
下大沢	蓮台寺駅	2	0	1	3	23,260	69,780			320,160
立野	蓮台寺駅	4	1	4	9	23,260	69,780			960,480
中	西中村	11	13	9	33	35,570	106,710			3,521,430
稲生沢地区計		39	27	24	90					9,505,700
原田	白浜神社	8	9	7	24	60,190	180,570			4,333,680
長田	長田	4	7	3	14	64,300	192,900			2,700,600
板戸	板戸一色	1	2	4	7	76,610	229,830			1,608,810
白浜地区計		13	18	14	45					8,643,090
柿崎	柿崎神社前	9	4	13	26	35,570	106,710			2,774,460
須崎	須崎海岸	9	9	7	25	54,720	164,160			4,104,000
外浦	外浦口	1	3	1	5	43,780	131,340			656,700
柿崎地区計		19	16	21	56					7,535,160
吉佐美	吉佐美	23	8	17	48	46,510	139,530			3,348,720
田牛	田牛	3	1	2	6	71,140	213,420			640,260
大賀茂	学校前	13	13	14	40	34,200	102,600			2,052,000
朝日地区計		39	22	33	94					6,040,980
全地区合計		124	100	105	329					41,016,410

※バス定期(1年)はバス定期(4か月)から算出、鉄道定期(1年)は鉄道通学定期(6か月)金額から算出。補助額は、それぞれの定期(1年)金額に生徒計をかけ算出。朝日地区は下田中学校旧学区で既存補助要綱適用により半額補助となるため、更に1/2をかけて算出。

(6) スクールバス年間試算額について

アンケート結果などから、スクールバス運行についてのご意見が多かったため、以下の条件にて、スクールバス年間試算額を算出しました。

ア スクールバスの試算

【スクールバス年間試算額算出条件】	
1	スクールバス運行について、交通事業者にて全て委託することを想定（車両及び運転手等）。
2	運行については、平日は、朝夕ともに片2便ずつ（部活有無により2便ずつ）、休日は、朝夕片1便、昼1往復（部活を午前及び午後に行うため）を想定。
3	市内を8コースに分け、スクールバスを運行。
4	年間試算額については、平成33年度を想定し、交通事業者からの1日あたりの見積額から、1年間（365日）全て運行した場合を算出。

(ア) 平成33年度平日・休日運行日数表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平日	21	18	22	21	21	20	20	20	22	20	19	22	246
休日	9	13	8	10	10	10	11	10	9	11	9	9	119

(イ) スクールバス運行試算額

稲生沢中学校					下田中学校				
コース① 北の沢					コース① 北の沢				
平日	1日	120,000	年間	32,472,000	平日	1日	120,000	年間	32,472,000
休日	(税別)	70,800	(税込10%)	9,267,720	休日	(税別)	76,400	(税込10%)	10,000,760
コース② 山髄院前					コース② 山髄院前				
平日	1日	124,000	年間	33,554,400	平日	1日	124,000	年間	33,554,400
休日	(税別)	78,400	(税込10%)	10,262,560	休日	(税別)	79,400	(税込10%)	10,393,460
コース③ 大沢口・高馬					コース③ 大沢口・高馬				
平日	1日	104,000	年間	28,142,400	平日	1日	108,000	年間	29,224,800
休日	(税別)	64,800	(税込10%)	8,482,320	休日	(税別)	66,800	(税込10%)	8,744,120
コース④ 堀切					コース④ 堀切				
平日	1日	108,000	年間	29,224,800	平日	1日	104,000	年間	28,142,400
休日	(税別)	66,800	(税込10%)	8,744,120	休日	(税別)	59,200	(税込10%)	7,749,280
コース⑤ 銭瓶峠・吉佐美					コース⑤ 銭瓶峠・吉佐美				
平日	1日	108,000	年間	29,224,800	平日	1日	104,000	年間	28,142,400
休日	(税別)	65,800	(税込10%)	8,613,220	休日	(税別)	64,800	(税込10%)	8,482,320
コース⑥ 田牛・大賀茂口・金山					コース⑥ 田牛・大賀茂口・金山				
平日	1日	112,000	年間	30,307,200	平日	1日	104,000	年間	28,142,400
休日	(税別)	66,800	(税込10%)	8,744,120	休日	(税別)	65,800	(税込10%)	8,613,220
コース⑦ 須崎海岸・爪木崎 GA					コース⑦ 須崎海岸・爪木崎 GA				
平日	1日	116,000	年間	31,389,600	平日	1日	112,000	年間	30,307,200
休日	(税別)	69,800	(税込10%)	9,136,820	休日	(税別)	65,800	(税込10%)	9,005,920
コース⑧ 板戸一色					コース⑧ 板戸一色				
平日	1日	116,000	年間	31,389,600	平日	1日	112,000	年間	31,389,600
休日	(税別)	70,800	(税込10%)	9,267,720	休日	(税別)	68,800	(税込10%)	9,136,820
平日小計			245,704,800		平日小計			241,375,200	
休日小計			72,518,600		休日小計			72,125,900	
合計			318,223,400		合計			313,501,100	

※平日：朝片2便・夕片2便（部活有無により片2便設定）休日：朝片1便・昼1往復・夕片1便
 【平日運行：246日 休日運行：119日】

第6 新中学校必要面積及び概算事業費等について

1 下田市立4中学校の維持管理経費について

(1) 平成27年度の決算状況

中学校の維持管理としては、中学校管理事業、中学校教育振興事業及び生徒援護事業にて予算計上し、事業執行をしています。平成27年度の決算額については下表のとおり。工事請負費が臨時的な費用と考えれば、約6,300万円が4中学校の維持管理費と捉えることができます。

4中学校を1校にすると建物維持に直接関係する需用費や委託料、給料及び賃金などの人件費関係は減になると予測されます。しかし、負担金補助及び交付金（通学補助など）や扶助費などは増になることが想定されるため、維持経費としては増減なしに増に転ずる可能性があります。

【表1：平成27年度4中学校関係費用】

事業	名称	予算額（円）	支出額（円）
中学校管理事業	報酬	1,018,000	1,013,800
	給料	3,379,000	3,319,200
	職員手当等	1,353,000	1,286,459
	共済費	909,000	868,052
	賃金	5,371,000	5,224,562
	旅費	149,000	136,045
	需用費	20,297,000	18,265,475
	役務費	2,330,000	2,231,094
	委託料	4,990,000	4,353,860
	使用料及び賃借料	6,925,000	6,680,915
	工事請負費	72,530,000	60,012,360
	備品購入費	1,518,000	1,517,614
	扶助費	7,000	0
	賠償金等	87,000	86,400
		120,863,000	104,995,836
中学校教育振興事業	報償費	65,000	30,000
	需用費	1,865,000	1,774,914
	役務費	30,000	30,000
	委託料	4,259,000	4,258,008
	使用料及び賃借料	852,000	845,224
	備品購入費	4,240,000	4,233,368
	負担金補助及び交付金	1,077,000	959,019
			12,388,000
生徒援護	負担金補助及び交付金	4,700,000	4,407,860
	扶助費	2,320,000	1,723,427
		7,020,000	6,131,287
合計		140,271,000	123,257,656

2 新中学校の普通教室必要面積の考察

(1) 各種条件設定

- ・統合は、平成 33 年 4 月 1 日と仮定し、生徒数を表 1 のとおりに想定しました。
- ・普通教室における 1 学級あたりの生徒数を全学年で静岡式 35 人学級による設定としました（標準は 40 人学級）。
- ・表 2 より静岡式 35 人学級設定の場合、3 学年最大で 14 学級となるため、普通教室の数は 14 と想定しました。

【表 2：平成 33 年 4 月 1 日から 3 年間の想定の子徒数及び学級数】

年度	学年	1 年	2 年	3 年	計
33	生徒数	152	139	140	431
	学級数 (40人学級)	4	4	4	12
	学級数 (35人学級)	5	4	4	13
34	生徒数	143	152	139	434
	学級数 (40人学級)	4	4	4	12
	学級数 (35人学級)	5	5	4	14
35	生徒数	134	143	152	429
	学級数 (40人学級)	4	4	4	12
	学級数 (35人学級)	4	5	5	14

(2) 普通教室の数と大きさ

現在の普通教室面積の基準として、「鉄筋コンクリート造校舎の標準設計」(昭和 25 年)における教室 63 m² (1.575 m²/人【40 人基準】)があり、また公立学校施設費国庫負担金等に関する関係法令等の運用細目(以下「運用細目」という。)で定める面積は 74 m² (1.85 m²/人【40 人基準】)となっています。なお、下田市内にある 4 中学校の普通教室の面積は表 3 のとおりになります。

【表 3：下田市内の 4 中学校における普通教室面積 (H28.5.1 現在)】

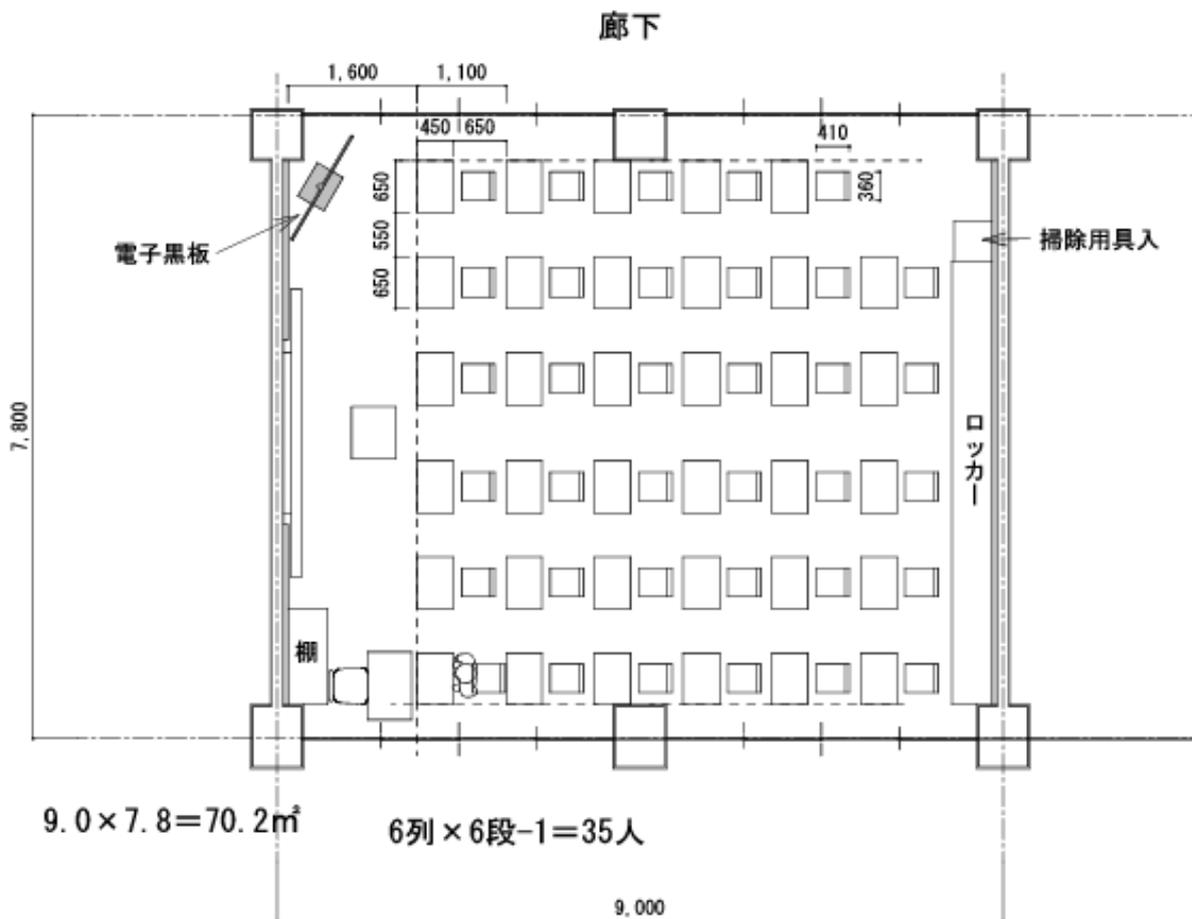
学校	稲梓	稲生沢	下田東	下田	平均 (m ²)
普通教室面積	59.04	64.8	63	67.5	63.585
1人当たり面積(40人学級)	1.48	1.62	1.58	1.69	1.59
1人当たり面積(35人学級)	1.69	1.85	1.8	1.93	1.82

(3) 普通教室面積の想定

表 3 に示した床面積は、柱芯での床面積であり、その中にロッカーや柱型があるため実際に机や椅子、通路として使用できる有効床面積は表 3 よりも少なくなります。また昭和 25 年当時と比較して現在は学習方法も変化しており、現中学校の面積をそのまま運用することはできないことから、別図に 35 人学級の普通教室検討モデルを示しました。別図は約 70 m² (9m×7.8m) とし、配置すると 35 人程度、設置することが可能となります。そのため別図の 70 m² を新築の場合の普通教室の基準と設定しました。

また、既存校舎を利用し、増改築する場合は、柱と柱との間隔を変更することが、構造的に困難であるため、現中学校の面積を普通教室の基準としました。

別図



- ・ 現在の下田中学校の鉄筋コンクリート柱型寸法を参考として配置。仮に鉄骨造とした場合は、柱型が教室に入ってくるため、図より狭くなる可能性があります。
- ・ 机及び椅子、その他造り付け家具類のサイズは、下田中学校を参考とし、最低限のサイズを想定しました。

3 新中学校における特別教室及び管理諸室とその大きさ

(1) 各種条件設定

- ・普通教室の大きさを1コマとして各種特別教室及び管理諸室の大きさを設定しました。
- ・新築の場合、階数は3階建て程度、既存改修の場合は既存校舎の階数を基本としました。
- ・新築の場合の計画室数は、下田中学校をベースに想定しました。

【新築の場合：必要諸室】 1コマ=70㎡

	室名	大きさ (計画コマ数)	計画室数	備考	総コマ数	
校舎	普通教室廻り					
	普通教室	普通教室	1	14		14
		多目的室	1	6	各学年2室	6
		特別支援学級	1	2		2
	特別教室					
	情報関係室	図書室	2	1		2
		パソコン室	2	1	サーバー室含む	2
	理科	理科室	2	2	準備室含む	4
	家庭科	家庭科室	2	2	被服室、調理室	4
	技術	技術室	2	2	金工室、木工室、準備室含む	4
	音楽	音楽室	2	2	準備室含む	4
	美術	美術室	2	1		2
	特別活動					
	生徒会	生徒会室	0.5	1		0.5
	生活関連スペース					
		昇降口	2.5	1		2.5
		生徒トイレ	0.5	6	男女別、各学年に	3
		配膳室	0.4	2		0.8
		給食受入室	1	1		1
		生徒更衣室	0.5	2	男女別	1
		多目的トイレ	0.1	3		0.3
		教材室	0.5	4		2
		廊下	4	3		12
		階段室	0.5	6	各階2箇所	3
	管理諸室					
		校長室	0.5	1		0.5
		職員室	2	1		2
		事務室	0.5	1		0.5
		会議室	1.5	1		1.5
		進路資料・指導室	0.8	1	書庫を含む	0.8
		印刷室	0.5	1		0.5
		放送室	0.5	1		0.5
職員更衣室		0.5	2	男女別	1	
保健室・相談室		1.2	1		1.2	
職員トイレ		0.5	2	男女別	1	
					79.6	

$$79.6 \times 70\text{㎡} = 5,572 \text{㎡} \rightarrow 5,570 \text{㎡}$$

- 体育館：1,200㎡ ○武道場（柔剣道場）：450㎡ ○部室：80㎡
 ○屋外体育器具庫：50㎡ ○駐輪場：20㎡ ○ゴミ置き場：10㎡

【稲生沢中学校増築及び既設改修の場合：必要諸室】 1コマ=64.8 m²

	室名	大きさ (計画コマ数)	計画室数	備考	総コマ数	
校舎	普通教室廻り					
	普通教室	普通教室	1	14		14
		多目的室	1	6	各学年2室	6
		特別支援学級	1	2		2
	特別教室					
	情報関係室	図書室	2.2	1		2.2
		パソコン室	2.2	1	サーバー室含む	2.2
	理科	理科室	2	2	準備室含む	4
	家庭科	家庭科室	2.3	2	被服室、調理室	4.6
	技術	技術室	3.5	1	金工室、木工室、準備室含む	3.5
	音楽	音楽室	2.5	2	準備室含む	5
	美術	美術室	2	1		2
	特別活動					
	生徒会	生徒会室	0.5	1		0.5
	生活関連スペース					
		昇降口	1.5	1		1.5
		生徒トイレ	0.5	6	男女別、各学年に	3
		配膳室	0	0		0
		給食受入室	1	1		1
		生徒更衣室	0	0	男女別	0
		多目的トイレ	0.1	2		0.2
		教材室	0.5	6		3
		廊下	1.6	6		9.6
		階段室	0.5	10	各階2箇所	5
	管理諸室					
		校長室	0.5	1		0.5
		職員室	2	1		2
		事務室	0.5	1		0.5
		会議室	1	1		1
		進路資料・指導室	0.5	1	書庫を含む	0.5
		印刷室	0.5	1		0.5
放送室		0.5	1		0.5	
職員更衣室		0.4	1	男女別	0.4	
保健室・相談室		1.5	1		1.5	
職員トイレ		0.4	1	男女別	0.4	
77.1						

$$77.1 \times 64.8 \text{ m}^2 = 4,996.08 \text{ m}^2 \rightarrow 5,000 \text{ m}^2$$

増築面積 1,836 m²

- 体育館：1,159 m² ○武道場（柔剣道場）：450 m² ○部室：80 m²
 ○屋外体育器具庫：58 m² ○駐輪場：20 m² ○ゴミ置き場：10 m²

【下田中学校増築及び既設改修の場合：必要諸室】 1 コマ=67.5 m²

	室名	大きさ (計画コマ数)	計画室数	備考	総コマ数	
校舎	普通教室廻り					
	普通教室	普通教室	1	14		14
		多目的室	1	6	各学年2室	6
		特別支援学級	1	2		2
	特別教室					
	情報関係室	図書室	2.2	1		2.2
		パソコン室	2.2	1	サーバー室含む	2.2
	理科	理科室	2	2	準備室含む	4
	家庭科	家庭科室	2.3	2	被服室、調理室	4.6
	技術	技術室	2.5	2	金工室、木工室、準備室含む	5
	音楽	音楽室	2.5	2	準備室含む	5
	美術	美術室	2	1		2
	特別活動					
	生徒会	生徒会室	0.5	1		0.5
	生活関連スペース					
		昇降口	1.5	1		1.5
		生徒トイレ	0.3	6	男女別、各学年に	1.8
		配膳室	0.5	1		0.5
		給食受入室	1	1		1
		生徒更衣室	0	0	男女別	0
		多目的トイレ	0.1	2		0.2
		教材室	0.5	3		1.5
		廊下	7.2	2		14.4
		階段室	0.5	6	各階2箇所	3
	管理諸室					
		校長室	0.5	1		0.5
		職員室	2	1		2
		事務室	0.5	1		0.5
		会議室	1	1		1
		進路資料・指導室	0.5	1	書庫を含む	0.5
		印刷室	0.5	1		0.5
		放送室	0.5	1		0.5
		職員更衣室	0.5	1	男女別	0.5
保健室・相談室		1.5	1		1.5	
職員トイレ		0.5	1	男女別	0.5	
					79.4	

$$79.4 \times 67.5 \text{ m}^2 = 5,359.5 \text{ m}^2 \rightarrow 5,360 \text{ m}^2$$

増築面積 262 m²

- 体育館：1,200 m² ○武道場（柔剣道場）：1,128 m² ○部室：58 m²
 ○屋外体育器具庫：54 m² ○駐輪場：20 m² ○ゴミ置き場：10 m²

4 2 中学校のメリット・デメリット及び概算事業費

今回、実施したアンケートから2中学校のメリット・デメリットを以下のとおり、取りまとめました。また総事業費についても、現時点での概算事業費について記載しております。

※総事業費については、教育委員会学校教育課が試算したものです。正式な事業費については実施設計等により、今後、算出されます。

敷地	新築 ／改修	総事業費試算	アンケート意見からのメリット	アンケート意見からのデメリット
稲生沢中学校	新築	約 24 億円 (うち市負担約 19 億円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下田駅まで平坦な道路であり、自転車通学等も通学しやすい。 ・ 蓮台寺駅もあり、電車通学できる(バス代より安い)。 ・ 路線バスで通いやすい(通学の時間が下田中よりも平均的)。 ・ 家屋も多く安心でき、地域の方の目が行き届く範囲に学校があると、町全体が活性化する気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校、小学校、中学校が集中すれば、歩道整備をしても自転車通学の生徒による道路の占有率も増えることは確実。 ・ 稲生沢中は周囲の道路が狭く、通学時に危険が伴う。また、行事の時の渋滞、駐車場不足が心配である。 ・ 稲生沢中の場合、交通面での不安が大きい。今、下田高校では自転車の乗り方、歩道の歩き方、朝の交通規制などが再三呼び掛けられている。それを考えると生徒数が増えた時の渋滞や自転車、車による事故等、不安が広がる。 ・ 天災(川の増水、津波他)を考えた時に土砂により水害での避難が一番重要だと思っているため。 ・ 多くの生徒が下田高校に進学することを考えると通学の負担の面、気持ちの面でも6年間同じ地区より変化がある方が望ましいと考える。
	増築及び改修	約 17 億円 (うち市負担約 10 億円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小中高校と密集しており、地域の安全面への配慮が下田中学校よりも行き届いている。 ・ 下田高校の近くにあり、教育の場の中・高生一緒に取り組む機会も増えて、お互いに意識や責任感が生まれてメリットになる。 <p style="text-align: right;">など</p>	
下田中学校	新築	約 26 億円 (うち市負担約 23 億円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置基準及び全て市有地であること。近隣が密集しておらず、稲生沢中学校より広大な敷地の環境の中で学校生活を送れる。緑に囲まれていて子どもの環境にも良い。 ・ スポーツ教育を充実させることができる。周囲の道路が広く、行事の時や緊急時に安心して車で行くことができる(駐車場等も確保できる)。 ・ 保護者が参加する行事(運動会や発表会)の時、遠方から来る人たちの駐車場を確保できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下田中学校では、稲梓地区の生徒の通学距離が遠くなり、負担が大きい。 ・ 高台ということもあり、自転車通学等通学しにくく、下田中学校までの通学路も周囲に人家がなく、防犯上心配である。 ・ 下田中学校になった場合、通学路に津波浸水域があるので、安全とは言えない。 ・ 敷根公園での大会や行事などの送迎、GW、夏季等、渋滞がひどいため。 ・ 高台という事では下田中学校でも良いと思うが、災害時に敷根は道路が1本しかなく、しかも山からの被害(崖崩れ)も考えられるので。 <p style="text-align: right;">など</p>
	増築及び改修	約 17 億円 (うち市負担約 12 億円)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害(特に地震)がおこった時、サンワーク・こども園・敷根グラウンドと共に避難の拠点となり安全であるとともに、中学生がボランティア活動の中心となってもらえる。 ・ 教室数などキャパシティが大きいのでそのまま使用できると思うから。 ・ 歩道の整備もされている為、通学時安全。トータル的に良い条件が揃っている為。 <p style="text-align: right;">など</p>	